

【競技注意事項】

1 規 則 2024年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項に準じて行う。

2 変更・訂正 当日の種目及び選手の変更は一切認めない。プログラム誤記訂正は8時30分までに本部へ届け出る。

3 練習 ①練習は競技役員の指示に従って行うこと。ただし、フィールド競技の練習は現地での招集後、競技場内で行うことができる。特に投擲練習は、競技役員の指示に従って試技順に競技場内で行うこと。
②競技に支障のない範囲で主競技場のバックストレートを開放する場合がある。その際、競技役員の指示に従い、事故には十分に注意すること。
③最初の競技開始20分前(9時00分)まで主競技場を練習に開放をする。その際、下記に練習のレーンの区分けを行う。
1～3レーン周回練習(ジョギングなど)、5～8レーンスピード練習、なお、競技役員及び競技者以外は、トラック・フィールド内に立ち入らないこと。
④競技場外のいかなる場所でも投擲練習は禁止する。
⑤ハードルの練習は、午前の競技が終わってから午後の競技が始まるまでに行うことができる。
※競技場外での練習については一般の方等との接触事故など周りに十分注意をして行うこと。
※練習中は、下記の点に注意すること。

- | |
|--|
| (1) 逆走しない。 |
| (2) 走り終わってすぐに左右に曲がらない。後方を確認してから8レーンの側から出る。 |
| (3) 走路上で立ち止まらない。 |
| (4) 走路を横切るときは左右を確認する。 |
| (5) お互いに譲り合って練習する。 |

4 競技用靴 2024年度日本陸上競技連盟競技規則TR5.2及び(国内)競技用靴に関する主要規則を適用する。
ただし、中学生、高校生のフィールド専用シューズのみ適用除外とする。

種目	ソールの最大の厚さ
800m未満のトラック種目	20mm
800m以上のトラック種目	25mm
フィールド種目(三段跳除く)	20mm
三段跳	25mm

5 アスリートビブス ①アスリートビブス及び腰ナンバー標識は主催者が準備したものを使用する。ただし、高校生は高体連指定のもの、中学生は伊勢原地区中体連指定(4桁番号)のものを使用する。
②アスリートビブスは、胸と背に確実に留める。ただし、跳躍種目ではアスリートビブスは背または胸につけるだけでもよい。
③トラック競技の競技者は、腰ナンバー標識を競技者係から受け取り、右腰やや後方につける。ただし、4×100mRは第4走者のみ受け取り、右腰やや後方につける。
④安全ピン(8本)は各自準備、トラック競技に出場選手は腰ナンバー標識用を含めて12本用意すること。
※主催者が準備したアスリートビブス、腰ナンバー標識ともに競技終了後、返却はしない。

6 招 集 ①招集場所は100mスタート側、器具庫付近で行う。
②招集時の確認は必ず、本人が行う。この時ユニフォームとアスリートビブス、スパイクの点検を行う。
③スパイクのピンの長さは9mm以下のものを使用すること。走高跳は12mm以下のものを使用すること。
④招集時間は、トラック競技は40分前から20分前まで、フィールド競技は50分前から30分前までとする。
⑤招集終了後、競技開始時刻10分前に最終確認を受ける。
⑥リレーのオーダー用紙は招集所の競技者係にて受け取り、競技開始1時間前まで招集所の競技者係に提出する。その際、第4走者は腰ナンバー標識を受け取る。また、10分前に競技地点(各走者スタート地点)で最終確認を行う。
⑦競技中に他の出場種目と招集時間が重なる場合は、事前に招集所競技役員に申し出て、招集を受けること。
※招集は本人以外認めない。本人が必ず時間内に招集すること。
※招集に遅れた場合は棄権とみなし、競技に参加することができない。

7 棄 権 棄権する場合は、招集時間内に招集所の競技者係まで申し出ること。

8トラック競技 ①トラック競技は全て電気計時で行う。

②同タイムの競技者及びチームについては、写真を細部まで読み取り、優劣を判定する。判定できない場合は、同タイムの競技者及びチームの代表者によって抽選とする。

③スタート合図は、イングリッシュコマンドで行い、**1回目の不正スタートで失格**とする。

スタート時の不適切行為に関しては、審判長(スターター主任)によって警告(イエローカード)を与えられることがある。本大会は、種目ごとの累積とし、同一種目のイエローカード2枚で当該種目のみ失格(レッドカード)とする。ただし、競技会からは除外しない。

小学生種目は全国小学生陸上競技交流大会のルールに準じて行う、**スタートはイングリッシュコマンド**。同一競技者が2回不正スタートで失格、ただしレースには参加できるが、記録は参考記録で扱う。

④800m、1500m、3000m、5000mはオープンスタートとする。

⑤リレー競技のユニフォームについては、同系色であれば形式は問わない。

9フィールド フィールド競技の試技順はプログラム記載の順番に従い行う。

競 技	砲丸の規格	中学男子(5.000Kg)中学女子(2.721Kg)
		高校男子(6.000Kg)一般男子(7.260Kg)
	円盤の規格	高校男子(1.750Kg)一般男子(2.000Kg)女子(1.000Kg)

走高跳の上げ方は優勝が決まって最後の1人となるまでは以下の通りとする。ただし、当日の状況により変更することがある。

男子	1m20 以後、5cmずつ
女子	1m20 以後、5cmずつ

※投擲種目の用器具については競技場に備え付けのものを使用する。個人の用器具の使用は一切認めない。

10 助力について ①出場選手がビデオ装置やレコーダー、ラジオ、CDプレイヤー、トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用することは禁止とする。

②フィールド種目に出場している競技者は、録画映像を提供する者のすぐ近くであれば、競技区域内に持ち込むことが認められる。画像をより詳しく見るために、競技者は画像を撮影した人とコミュニケーションを取りながら録画再生機器を手にしても良い。(TR6.4.5)ただし、競技場の形状等ですぐ近くで手渡しができない場合は、無理(落とす、投げる等)をして渡さないこと。

11 表彰 表彰式は行わない。ただし、入賞者(1位~3位)の賞状は、正式記録アナウンス後、本部に取りに来る。団体においては代表者が取りに来る。

12 その他 ①グラウンド内での飲食等は禁止します。

②使用した観覧席は綺麗にし、ゴミは持ち帰りください。

③応援はスタンドで行い、危険物の持ち込みやペットを連れて入場はできない。

④トラック競技のスタートの際は、静寂になるように協力すること。

⑤貴重品の管理は各団体、各個人の責任で行うこと。

⑥競技中の疾病、傷害などの応急手当は主催者側で行うが、その後の責任は一切負いません。